

第32期 決算公告

2020年6月24日

大分県大分市城崎町2丁目6番31号
大銀コンピュータサービス株式会社
代表取締役 平山 義雄

貸借対照表 (2020年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流 動 資 産	4,512,647	流 動 負 債	3,425,459
現金及び預金	3,847,036	リース債務	13,012
有価証券	600,000	未払金	4,228
前払費用	5,432	未払費用	22,561
立替金	5	前受収益	703
未収収益	60,173	未払消費税	10,270
固 定 資 産	361,429	代金回収預り金	3,323,994
有形固定資産	49,195	未払法人税等	18,338
建物附属設備	1,273	賞与引当金	32,351
什器備品	3,523	固 定 負 債	167,347
リース資産	44,397	リース債務	34,177
無形固定資産	100,893	役員退職慰労引当金	6,390
電話加入権	368	退職給付引当金	126,780
ソフトウェア	85,297	負 債 の 部 合 計	3,592,806
リース資産	1,413	(純資産の部)	
ソフトウェア仮勘定	13,814	株 主 資 本	1,281,270
投資その他の資産	211,340	資 本 金	30,000
関係会社株式	152,891	利 益 剰 余 金	1,251,270
繰延税金資産	58,448	利 益 準 備 金	6,600
		その他利益剰余金	1,244,670
		別 途 積 立 金	1,000,000
		繰越利益剰余金	244,670
		純 資 産 の 部 合 計	1,281,270
資 産 の 部 合 計	4,874,076	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	4,874,076

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価を把握することが極めて困難と認められるもの

移動平均法による原価法により行っております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定率法を採用しております。

無形固定資産

定額法により償却しております。なお、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間（5年）に基づいて償却しております。

リース資産

リース期間を耐用年数とした定額法を採用しております。残存価額については零としております。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、当期末に在籍する役員を対象に、内規に基づく年間繰入見積額を期間により按分し計上しております。

退職給付引当金

従業員の退職金の支給に備えるため、当期末に在籍する従業員を対象に、退職金規程に基づく年間繰入見積額を期間により按分し計上しております。

(4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式で行っております。

2. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額	2,135,450円	21銭
1株当たり当期純利益	107,205円	42銭